



とうきょうほうめん

ねんせいしゅうがくりょこう

東京方面への3年生修学旅行！

3年生が、6月10日（水）から12日（金）の2泊3日で東京方面に修学旅行に行きました。「自苾を持つ」という学年目標のもと、「～誰もが嫌な思いをしないように～」という具体的な目標を掲げ、仲間のことを意識しながら3日間をともに過ごしました。天候にも恵まれ、3日目の昼食後少し雨には降られましたが、楽しく活動を行うことができました。3日間ともに過ごした仲間やお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、いい思い出にしてほしいと思います。また、それぞれの見学地で学んだことをこれからの学習にいかしてほしいと思います。第五福竜丸展示館での平和セレモニーも忘れずに。

主な行き先等

1日目…都内クラス別研修（日本科学未来館、そなエリア東京、江戸東京博物館、羽田クロノゲート等）－両国江戸NOREN（店名：夕食）－東京スカイツリー

宿泊先 品川プリンスホテル

2日目…第五福竜丸展示館－大学キャンパスめぐり（東京医療大学・早稲田大学）（学食：昼食）－東京ディズニーランドでのグループ活動（夕食）

宿泊先 東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート

3日目…国会議事堂－浅草寺・仲見世通り・雷門－葵丸進（店名：昼食）



避難訓練を実施！

6月24日（水）、地震を想定した避難訓練を実施しました。学年ごとに、避難経路にしたがって素早く避難することができました。しかし、南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくない状況になっているといわれています。どんなときに地震が起こるかわかりません。ご家庭でも、様々な想定時に、いざ地震が起きた場合の行動の仕方や連絡の取り方、集合場所などについて話し合ってみてください。

1年生山なみ学習講演会



「『自分らしく生きる』ってなんだろう？」

6月18日(木)に、多様な性のあり方に関する講演をいただきました。講師の加納克典さんと嶋田全宏さんに、本校に来ていただくのは今回の講演で8年目になります。お二人は同性カップルを公的に認める伊賀市の「パートナーシップ制度」を利用して移住してこられた方です。ご自身の事を中心に、多様な性のあり方に関わる様々な課題や、経験してこられた事などを話していただきました。また、伊賀市に移住された

現在の生活や伊賀市の魅力についても毎回お話しいただいています。お二人は「『私たちのことを知りたい』と素朴に疑問に感じたことを出してくれることがうれしいんです」と、事前に生徒が提出した質問に基づいて、ていねいにお話していただきました。

伊賀市では、すべての中学校で「多様な性のあり方に関する学習」を行っています。すべての人権課題に共通して言えることは、「差別はする人がいるから起こる。しかし、差別をしている側には差別をして誰かを困らせている自覚がない人がいる」ということです。このことを解決していくためには、正しい知識をもち、自分の間違いを正し、行動に結びつけていくことが必要だと考えています。そしてこの学びを日々の生活にいかしていくことも大切だと考えています。

2年生山なみ学習講演会

「外国の人が住みやすいまち=誰もが住みやすいまち」

本校には外国につながるのがある生徒が約12%在籍しており、少し増える傾向にあります。国も様々でポルトガル語やスペイン語をはじめ、英語、タガログ語、中国語、タイ語などを話せる生徒が在籍しています。山なみ学習では、「多文化共生社会をめざして～私たちにできること～」について考え続けています。

6月16日(火)、講師として伊賀日本語の会代表の菊山順子さんと本校卒業生で外国につながるのがあるニシダユキエさんにお越しいただきました。三重県や伊賀市の外国人の方の現状や、菊山さん・ニシダさんご自身の経験をお話いただきました。「国のルーツに関係なく、みんなが自然に受け入れていることはすごい。」と評価もいただきました。ニシダさんは、外国語大学を出た後、伊賀市役所で働き、その後海外に語学留学をされた経験からいろいろな言葉を学習することの大切さを教えてくださいました。誰もが住みやすいまち、誰もが生活しやすい学年・学級にしていくために自分は何ができるのか、これからも学びを進めていきます。

1年生・2年生では、1学期の山なみ学習の一環として5月には、伊賀市役所人権政策課長の川口素生さんからもお話を聞かせていただきました。川口さんには、小学生のころにも各学校で話を聞かせてもらっており、中学生になって久しぶりの出会いとなる中、改めて人権の大切さを教えてもらいました。



6/3付で熱中症防止のネッククーラーの使用について、保護者のみなさんにもお知らせさせていただきましたが、熱中症防止に向けて、日頃のお声かけ等ご協力よろしくお願いします。